



春陽会

北海道研究会 版画部

第6号 2016年1月8日

発行責任者大井戸 百合子

第93回春陽展大綱決まる

春陽会のホームページで第93回春陽展に関し、「一般出展エントリーについて」昨年の12月16日付で開始の発表がありました。

会期は2016年4月13日(水)から4月25日(月)まで、国立新美術館(東京都港区六本木)で開催されることになりました。

地方出展者は、搬入代行会社(川端商会*1)3月24日(木)まで到着することとしています。

一般出展エントリーについては、出展に先立ち下記の方法で提出する必要があります。(92、93回出展者は春陽会から送付されるため不要)

- WEB: <http://www.shunyo-kai.or.jp>
- FAX: 03-6380-9467 (春陽会事務所)
- メール: shunyo-kai-entry@shunyo-kai.or.jp
- 郵送: 〒102-0085 東京都千代田区六番町一番町一番館
春陽会事務所 エントリー係 宛

【年頭所感】

代表 大井戸 百合子

研究生のみなさん、良いお年を迎えられましたでしょうか。

昨年は、時計台ギャラリーでの作品展が多くの方々に観賞をいただき、好評を博しました。

今年は、例年の作品展の他に、標津町での地方作品展を計画しています。いずれも成功させることのできるようご協力をお願いいたします。

また、春陽展出展に向けた作品制作の取り組む季節がやってまいりましたが、寒さにめげず体調管理され、取り組まれることを望みます。

2015年作品展開催さる

2015年北海道研究会版画部作品展が、昨年11月23日(月)から28日(土)まで札幌時計台ギャラリーで開催されました。同ギャラリーでの展示スペースが広く、一人あたり4~6作品展示と、これまでにない大規模の作品展となりました。

また、市中ギャラリーでの作品展デビューとなり、鑑賞に訪れた方々も約500名にのぼり、盛況でした。

開催初日に行われたオープニングセレモニーでは、当会研究生が全員参加し、各展示作者による作品の説明が行われ、有意義な懇親会となりました。

また、会期を同じくして同ギャラリーで北海道研究会絵画部の作品展も同時開催されるなど、北海道の美術愛好家に春陽会を強くアピールすることとなりました。

【出品リスト】 縦×横サイズ単位:mm

大井戸 百合子 (銅版画)	死者の道 1 死者の道 2 カラスの棲む家 あやつる 逃亡 現代世相	府川 誠 (リトグラフ)	暮雲 清明 清爽 麗昏 静舎 煙突
佐々木 千晶 (木版画)	フローラルギフト I フローラルギフト II あめりのかくれんぼ 葉ボタン	福岡 幸一 (銅版画)	マンデリセラス亜科の仲間 ローマニセラス亜科の仲間 カニングトニセラス アカントセラス スミトモセラス
澁谷 美求 (銅版画)	青の世界 III 白の女 祭り II Blue Stage-01 月光	藤林 峰夫 (木版画)	Le Mont Saint-Michel La Alhambra de Granada メスキータとローマ橋 La Mancha de Consuegra
千葉 定是 (孔版画)	アイヌ文様曼荼羅 コタンの祭り コタンの城砦 赤い大地 コタンに吹く風	山本 修一 (木版画)	連峰の初夏 寒郷 東大雪 俊獄 芦別岳遠望 秀峰旭岳



(第三種郵便物認可)

版画種類や技法紹介

春陽会展示会 3氏がトーク

標 津

【標津】会員・会友が全国で600人を超え、約90年の歴史で多くの美術家を輩出し続けている「春陽会」の版画部展示会が22日、町

生涯学習センターで始まり、道内在住の出展者3人によるキャラリートークが行われた。町教委の主催で同センター開館20周年記念事業の一環。

この日は、展示会の実現に向け全面協力した大井戸百合子さん、府川誠さん、

藤林峰夫さんが来町した。参加者約10人の前で自己紹介した後、府川さんが木版や銅版、リトグラフなど版画の種類や技法について説明。また大井戸さんは、版画家を目指した経緯や同町との縁、春陽会の歴史・変遷などについて紹介し「標津には何度も訪れている

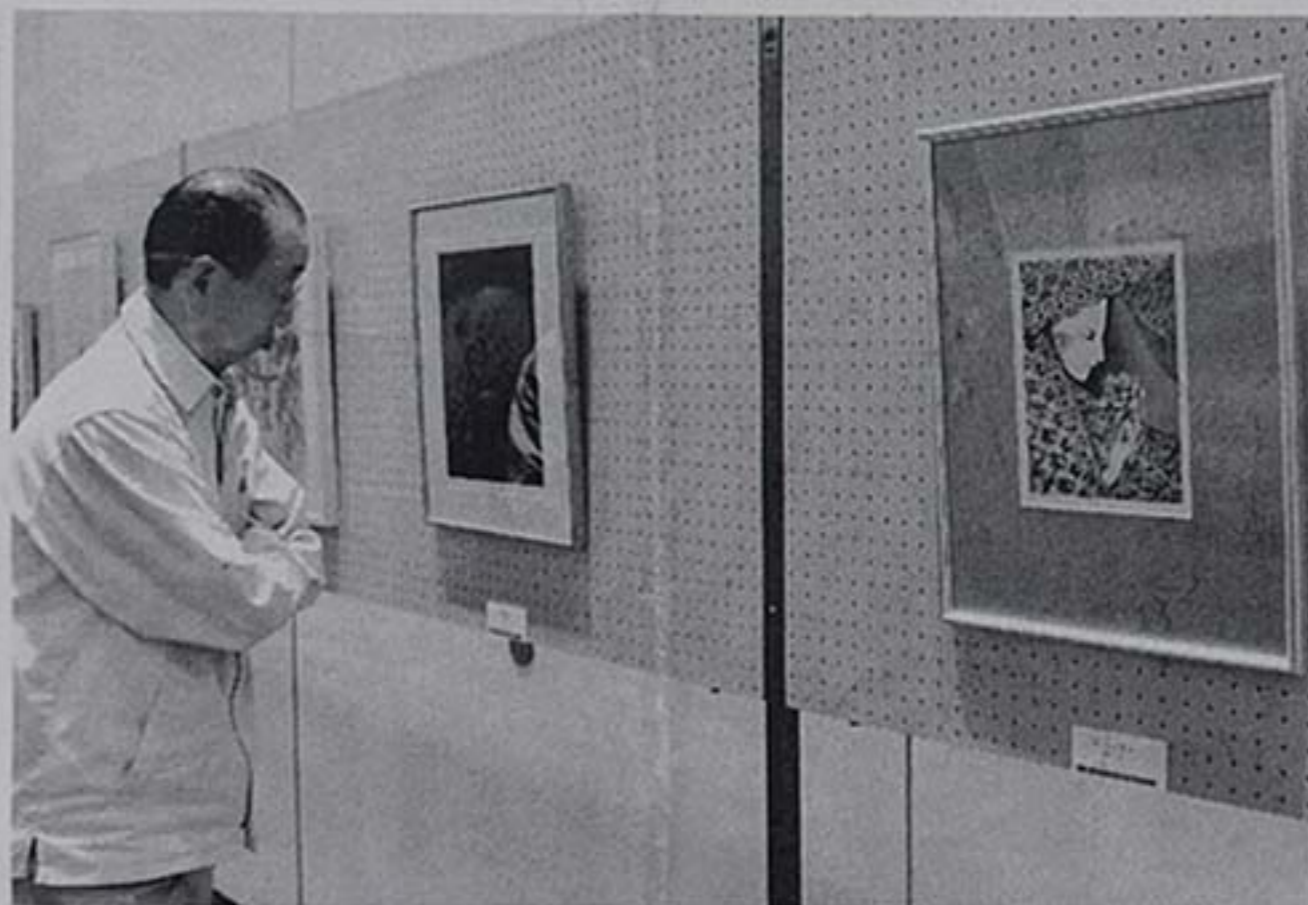
が、楽しい思い出ばかり」と語った。

続いて会場内を巡り、個々の作品について解説。会場では、春陽会と北海道研究会版画部の56点の展示のほか、絵本作家でもある大井戸さんの原画展も実施。参加者は解説に耳を傾けながら、多彩な作品を鑑賞した。

展示は10月2日まで。入場無料。24、25日には銅版画教室、29日には孔版画体験、10月1、2日には木版画体験を予定。詳しくは同センター0153(82)2900へ。(原田未央)



キャラリートークを行った藤林さん、大井戸さん、府川さん(左から)



展示作品を鑑賞する来場者



春陽会

北海道研究会 版画部

第7号 2016年11月4日

発行責任者 大井戸 百合子

札幌市中央区旭丘5丁目2-1

☎ 011-561-0525

版画部標津展盛況に開催さる

春陽会版画部標津展が、秋分の日(9月22日(木))から10月2日(日)まで、標津町生涯学習センター「あすばる」で開催されました。

展示会では作品展の他、オープニングではギャラリートークがあり、大井戸、府川、藤林各氏による自己紹介が行われました。

大井戸さんによる標津町との縁や、春陽会の歴史などについて紹介があり、府川さんによる版画の種類や技法についての説明があり、参加者は熱心に聞き入っていました。引き続き、各氏による展示作品の解説や説明が行われました。

9月24、25日に行われた大井戸さんの企画「親子銅版画教室」では、12名が参加して銅版画初体験を行い、創作作品がロビーに展示されました。

初めての作品とは思えないものや、大人顔負けの児童の作品があり、訪れた人からも称賛の声が聴かれました。

9月29日には千葉さんの企画「孔版画の実演・体験」が行われ、10月1、2日に行われた藤林さんの企画「木版画の体験」では、用意された版木に参加者自らが墨液を置いて摺る工程を体験してもらいましたが、初めてバレンを握る人ばかり、刷り上がりに満足すると歓声を上げていました。

釧路新聞などの地元紙で紹介されたことから、釧路市、根室市など近郊多数の方々が見物に訪れました。



標津展作品展示室



北海道研究会の展示コーナー

【展示作品名】(北海道研究会のみ掲載)

出展者	版種	作品名
大井戸 百合子	銅版画	夜のさくら
佐々木 千晶	木版画	赤瑠璃色の花瓶
澁谷 美求	銅版画	藍色の女II
玉村 拓也	木版画	窓辺のシンフォニー
千葉 定是	孔版画	かしわ葉夢
府川 誠	リグヲ	景雲
福岡 幸一	銅版画	シャーペイセラス
藤林 峰夫	木版画	トドワラ
山本 修一	木版画	岳の初夏(羅臼岳)

平成29年度総会開催さる

平成29年度北海道研究会版画部総会が、去る10月22日(土)札幌中央区「根」で開催され、札幌近郊の在住者全員が参加しました。

総会では、標津展の報告をはじめとする前年度活動や決算報告がなされました。

今年度の作品展は、2017年に十勝管内幕別町での開催を計画することとしました。

また、会計担当について、福岡さんから藤林さんへ引き継ぐことが承認されました。

【北海道研究会役員】

主任：大井戸 百合子

事務：府川 誠

会計：藤林 峰夫

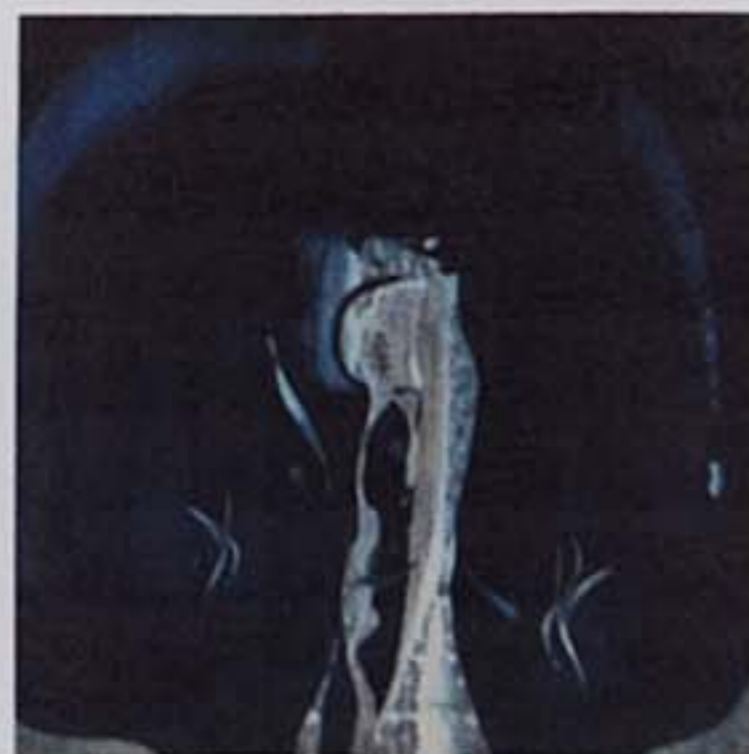
第93回春陽展

澁谷さん 奨励賞受賞

今春開催された第93回春陽展において、澁谷美求さんが奨励賞を受賞しました。

澁谷さんの作品は、これまでも受賞候補作として高く評価されてきました。

また、藤林 峰夫さん、山本 修一さんが会友として登録されました。



受賞作「笑う女II」